

市政懇談会（2025年11月19日・町田市役所会議室）報告

出席 ○市側 市長 石阪丈一 各部担当部長

○地域側 町田市町内会・自治会連合会 会長 高橋 清人
副会長 平本 勝哉
会長代行 中 一登

各町内会代表

金森一丁目町内会 副会長 小林 洋介

意見交換

①多摩都市モノレール町田延伸早期実現について

Q 多摩都市モノレール町田延伸計画は2032年完成予定のはずであったが現時点で不可能と断じざるを得ない。小野路～市民病院～町田駅までの基盤道路も手つかずである。

- 1・今後の進展について聞きたい。
- 2・現時点での完成目標を聞きたい。

A (都市づくり部)

都は箱根ヶ崎までの延伸を優先しており、2030年代の開通をめざしている。
町田方面の作業はその後になり、40年代に入ると判断せざるを得ない。

②境川の水防について

Q 最近の気象変化により、異常降雨が発生している。町田市の境川流域住民は氾濫の危険に日々脅かされている。都や市は65ミリの降雨を想定して河川整備を行っているというが、神奈川県藤沢市近辺は整備が進んでいないため、現在は30ミリの降雨でも洪水の危険がある。都にさらなる対応を働きかけてもらいたい。

A (下水道部)

大和市や藤沢市は境川周辺は住宅密集地でもあり、川幅拡張工事が難しく、工事が進んでいない。上流である町田市から一気に水を流してしまうと、大災害をまねく恐れがあり、排水力を最大にできない現状である。神奈川県は藤沢市近くの境川にバイパスを作る、川の下にさらに川を作るなどの方法を調査中とのことである。

【発言】神奈川県域が危険になるのはわかるが、だからといって町田から最高排水力で水を流せないのは困る。神奈川県にさらに強く申し入れてほしい。

③町内会自治会のデジタル化支援について

Q 「いちのいち」のリニューアルで問題や不具合が生じ利用者が激減している。無償化措置も反故にされそうである。新たなシステムやデジタル化への市からの補助策などを聞きたい。

A (市民部)

現在「いちのいち」に代わるもの検討中（何が必要で、何が不要であるかを精査中）である。都からの助成金もあるので、改めてご連絡する。

④ごみ袋の無償化について

Q 物価高のため、ごみ袋の購入費が市民の負担となっている。ごみ袋に広告を入れる等の工夫をして、袋を無料化、または値下げしてほしいと思うが市の考えはどうか。

A (環境資源部)

ごみ袋有料化によって、ごみの量は減少傾向にある。有料化の効果と考える。しかしそれでも町田市のごみの量は多摩26市中5位である。ごみ袋の無償化は考えていない。

○この答えを聞いた時は納得したのですが、後でよく考えてみると、町田市の人団は八王子市に次ぐ多摩地域ダントツの第2位であり、他の市の人口を大きく上回っています。それでごみ量が第5位というのは上出来ではないのかという気がしてきました。次の機会には質問してみたいと思います。

⑤民政委員の不足対策

Q 民政委員の高齢化が進んでいるうえに、新たな希望者は減少している。民政委員がいなくなることは深刻な問題である。対策を聞きたい

A (地域福祉部)

地域を再統合するなど、新しい編成を考えている。

○この答えに納得しない方から何度も繰り返し質問がありましたが、質問・答えとともに、私（小林）にはよくわからず、まとめられません。申し訳ありません。

⑥統廃合する小中学校にスクールバス導入を

Q スクールバスの検討は徒歩30分以上かかる場合と聞いているが、小学校低学年の児童には大変であり、危険を伴う。スクールバス導入がさまざまな危険から児童を守る最善の策である。考えを聞きたい。

○南地区市政懇談会の議題と同内容ですが、この議題にたどりついた時はもう会議終了

時間寸前でした。（市長の市政報告も手つかずで残っていました）。市の回答は南地区でのものとほぼ同じですので、そちらを参照していただきたいと思います。わずかな時間で中町の会長さんから「実際に歩きましたか。私が歩いたところ30分どころか50分はかかります。異常気象による暑さ寒さ、豪雨など低学年生の登下校には心配が尽きません」との意見がありました。

私も学校保健担当者の意見をきいているのか、7月後半、9月前半の下校時（半日で授業終了の日がある）の暑さ対策をどう考えているのかと、1分でまくしたててきました。今後「基本方針を定めるプロジェクトチーム（？）」ができるという話が最後にいきなり出てきたので、必ず健康管理担当の人を入れて計画をたててほしいと要望しました。